

第 1 号 報 告

事 業 報 告 書

— 平成 30 年度 —

(第 10 期)

自 : 平成 30 年 4 月 1 日

至 : 平成 31 年 3 月 31 日

1 当学会の現況

会員数の推移

会員種別	平成 30 年 3 月 31 日現在	入会者	退会者	平成 31 年 3 月 31 日現在
正会員	190	22	11	201
学生会員	23	6	4	25
賛助会員	12	0	2	10
公益会員	4	0	0	4
名誉会員	0	0	0	0
総会員数	229	30	17	240

役員に関する事項

現在の役員は以下の通りである。

代表理事 中川 慎二 会長
理事 今野 雅
理事 大島 聡史
理事 酒井 秀久
理事 柴田 良一
理事 高木 洋平
理事 西 剛伺
理事 福江 高志
理事 藤岡 照高
理事 宮部 正洋
理事 森本 賢治
監事 野村 悦治

主たる事務所の住所

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 8階

事務局の住所等

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 8階

TEL: 080-9280-3892

2 事業活動報告

平成 30 年度の事業計画に沿って活動の概況を報告する。

2.1 社員総会

2.1.1 定時社員総会

開催日時

2018 年 6 月 22 日(金曜日) 16:50~17:50

開催場所

ルーテル市ヶ谷センター 会議室

正会員現在数及び定足数

正会員現在数： 198 名 定足数： 99 名

出席正会員数： 113名

(内訳)

出席者数： 23名

電磁的方法による委任： 90名

うち

議長を代理人にする者： 89名

出席する他の正会員を代理人にする者： 1名

議事

報告事項 第1号報告 『平成29年度事業報告』

決議事項 第1号議案 『平成29年度決算報告』 可決

第2号議案 『平成30年度事業計画』 可決

第3号議案 『平成30年度収支予算』 可決

第4号議案 『定款変更の件』 可決

第5号議案 『平成31年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』 可決

2.2 公益目的事業

2.2.1 催事

2.2.1.1 2018年度オープン CAE 講習会 (実行委員長：酒井理事)

開催日

2018年6月22日

開催場所

ルーテル市ヶ谷センター

概要

講習会、懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

講習会：46名、懇親会：14名

2.1.1.2 オープン CAE シンポジウム 2018 (実行委員長：西理事)

開催日

2018年12月6日(トレーニング)、7日(講演会)、8日(講演会)

開催場所

川崎市産業振興会館

概要

講演会、トレーニング、懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

講演会：106名、トレーニング：62名、懇親会：50名

特記事項：付帯トレーニングの一部(固体分野、熱流体分野)に対して(社)日本機械学会の計算力学技術者検定事業による講習会認定を継続申請した。

2.2.1.3 オープン CAE サマースクール 2018 (実行委員長：高木理事)

開催日

2018年8月31日～9月2日

開催場所

近江屋旅館（神奈川県足柄下郡箱根町）

概要

講義・演習、懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

16名

2.2.2 委員会活動

2.2.2.1 学術研究委員会（委員長：大島理事）

テーマ別の小委員会を束ねる全体委員会としての学術研究委員会を立ち上げた。V&V委員会とモデルベースデザイン委員会が小委員会として当委員会に入り昨年度から活動を継続、さらにHPC小委員会を新たに立ち上げた。

2.2.2.1.1 V&V小委員会（委員長：今野理事）

本年度はOpenFOAMコード検証勉強会を4回開催し、検証資料を蓄積した。スーパーコンピュータおよびクラウドにおいて、チャンネル流れを対象にOpenFOAMベンチマークテストを実行し、得られた成果についてシンポジウムで発表すると共に、計測結果を学会のレポジトリにコミットした。

2.2.2.1.2 モデルベースデザイン小委員会（委員長：西理事）

平成29年度に立ち上がった委員会を踏襲し、以下の活動を実施した。利用推進活動として、オープンCAEシンポジウム2018においてModelica関連のトレーニング2件を企画、運営した。また、研究及び開発活動に関する成果発表の場として、オープンCAEシンポジウム2018においてモデルベースデザインセッションを企画、運営した。その他、昨年5月に開催されたJapanese Modelica Conference 2018にオープンCAE学会として協賛した。

2.2.2.1.3 HPC小委員会（委員長：大島理事）

OpenFOAMなどのオープンソースCAEソフトウェアの高性能計算(High Performance Computing、HPC)環境における活用についての活動を行う小委員会として、当年度より新たに本小委員会を立ち上げた。本小委員会の主な活動目的は、スーパーコンピュータシステムやクラウド上でのオープンCAEソフトウェア利用に関する情報の共有や提供、オープンCAEソフトウェアの性能評価・性能改善を行うことである。当年度はOpenFOAMの性能評価を実施した。（九州大学情報基盤研究開発センターのスーパーコンピュータシステムITOを利用、利用負担金はV&V小委員会から融通していただいた。）

2.2.2.2 広報・コミュニティ委員会（委員長：森本理事）

広報活動の一環として、会員向けのニュースレターを配信した。賛助会員向けの活動として、賛助会員との意見交換会を開催した。オープンCAEシンポジウム2018では、従来と同様の賛助会員ライトニングトークに加えて、トレーニング開催日に賛助会員企業による無償セミナーを開催した。

2.2.2.3 Web編集委員会（委員長：高木理事）

各担当理事による情報発信を積極的に進めることとし、情報を集積して学会活動の一般への広報を促進した。コンテンツマネジメントシステムの WordPress を利用して Web コンテンツを整理し、会員、学会が発信する情報を速やかに入手できるように運営した。

2.2.2.4 出版・編集委員会 (暫定委員長：西理事)

学会の論文名をオープン CAE 学会論文集と定め、公開及び準備を進めた。論文投稿規定、査読フローを制定するとともに、平成 30 年度総会開催に合わせて、第 1 号論文を公開した。また、オープン CAE シンポジウム 2018 から座長推薦による講演の論文への勧誘を開始した。

2.2.2.5 国際化推進委員会 (委員長：中川会長)

OpenFOAM のマニュアル日本語化や国際協力を円滑に進めるために、OpenCFD 社 (ESI-Group) との間で覚え書きを交わした。その目的は、OpenFOAM Governance framework に協力することで、OpenFOAM の持続可能な発展へ貢献することである。オープン CAE シンポジウム等の学会行事について、英語での情報公開を進めた。

2.2.2.6 講習会委員会 (委員長：酒井理事)

総会付帯講習を 8 コマとシンポジウムでの付帯講習を実施しいずれも収支は黒字であり、盛況であった。また 3 月に地方講習会として、富山県立大学での OpenFOAM コードリーディング講習を実施した。

熱流体と固体分野について日本機械学会認定講習会教材を更新し、再認定を受けた。

2.2.2.7 資料翻訳委員会 (委員長：藤岡理事)

OpenFOAM ユーザガイド・プログラマズガイドの和訳を継続し、新バージョンへの対応を検討した。OpenCFD 社と MoU を締結し、v1906 からの翻訳を継続的に実施して公開することとした。Salome-Meca の EDF 公式教材のうち基礎編のレビューを完了した。応用編については翻訳作業中断中である。

2.2.2.8 表彰委員会 (委員長：福江理事)

平成 30 年度の田辺賞受賞者を選考し、藤井成樹氏に決定した。オープン CAE シンポジウム 2018 における優秀学生講演賞受賞者を横山大輔氏・濱谷風人氏 (愛知県立愛知総合工科高校専攻科)、三浦純哉氏 (東洋大学大学院) に決定した。オープン CAE シンポジウム 2018 において表彰した。

2.3 収益事業

2.3.1 講師派遣事業

平成 30 年度には一般財団法人高度情報科学技術研究機構 (RIST) から OpenFOAM 講習の講師派遣に関する相談があり、候補者を推薦した。

2.4 理事会

2.4.1 第 1 回理事会

開催場所	目黒区菅刈住区センター
開催日時	平成 30 年 4 月 14 日 13 時 00 分～17 時 00 分
議案等	決議事項 第 1 号議案 『主たる事務所の移転について』

- 第 2 号議案 『 委員会の構成見直しについて 』
- 第 3 号議案 『 平成 30 年度オープン CAE 講習会の開催概要について 』
- 第 4 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2018 の開催概要について 』
- 第 5 号議案 『 サマースクール 2018 の開催概要について 』

協議事項 ① ニュースレターでの人材募集について

報告事項 ① 当学会 Web サイトへの記事掲載について

② 資料翻訳について

③ 青色申告の承認取り消し後の状況について

④ 旅費規程運用内規案および申請書式案について

⑤ オープン CAE ハッカソンの開催中止について

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『 主たる事務所の移転について 』

業務の都合により、平成 30 年 6 月 25 日から当法人の主たる事務所を下記へ移転することが提案された。

主たる事務所移転先 東京都港区海岸3丁目9番15号 LOOP-X 8階

本議案について、出席理事全員一致で可決した。

第 2 号議案 『 委員会の構成見直しについて 』

本議案は、委員会の構成見直しについて理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・ 学術研究委員会を新設し、既存の V&V 委員会とモデルベースデザイン委員会を学術研究委員会に所属させる

- ・ 学術研究委員会の委員長を大島理事とする。

本議案について、原案を出席理事全員一致で可決した。

第 3 号議案 『 平成 30 年度オープン CAE 講習会の開催概要について 』

本議案は、第 9 回定時社員総会に付随して開催する平成 30 年度オープン CAE 講習会の概要について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・ 講習会担当:酒井理事

- ・ プログラム:

- ・ 講習(2 部屋×4 コマ) ①9:20-10:50 ②11:00-12:30 ③13:30-15:00 ④15:10-16:40

- ・ 講習内容:

- ・ 会議室 1)①熱流体入門(中川) ②熱流体初級(中川) ③V&V 例題の実行と結果自動処理化(中山) ④重合メッシュ機能の使用法(川畑)

- ・ 会議室 2)①固体 FEA 入門(藤岡) ②固体 FEA 初級(藤岡) ③MeshLab による STL データ修正(坪田) ④PrePoMAX を利用した Calculix 構造解析(柴田)

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第 4 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2018 の開催概要について 』

本議案は、オープン CAE シンポジウム 2018 の概要について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・ 日程 2018 年 12 月 6 日(木)、12 月 7 日(金)、12 月 8 日(土)

- ・ 運営方針案(会場候補、主な業務)について確認した。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第 5 号議案 『 サマースクール 2018 の開催概要について 』

本議案は、サマースクール 2018 の概要について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・ 日程 2018 年 8 月 31 日(金)、9 月 1 日(土)、9 月 2 日(日)

- 運営方針案(会場候補、講師、内容、参加費)について確認した。
本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

- 1 ニュースレターでの人材募集について、下記のような意見が出された。
 - 正会員・学生会員からの求人・求職は受け付けない。
 - 学会は人材募集の情報を流すだけで、取次等は行わない。

(報告事項)

- 1 当学会 Web サイトへの記事掲載について
 - 高木理事より、当学会 Web サイトに賛助会員インタビュー記事第 2 回「日本 ESI 様」を掲載した、との報告があった。
- 2 資料翻訳について
 - 藤岡理事より、EDF 作成の Salome-Meca トレーニング教材の翻訳について進捗報告があった。
- 3 青色申告の承認取り消し後の状況について
 - 事務局より、納税が遅れた 2 年分は白色申告になるが、その後は青色申告に復帰できる見込みであるとの報告があった。
- 4 旅費規程運用内規案および申請書式案について
 - 大島理事より、旅費規程運用内規案および申請書式案が提示された。
- 5 オープン CAE ハッカソンの開催中止について
 - 高木理事より、2018 年 3 月 10 日・11 日に開催を予定していたオープン CAE ハッカソンは、最少催行人数に達しなかったため開催中止となった、との報告があった。

2.4.2 第 2 回理事会

開催方法 電子メールによる表決

開催期間 平成 30 年 6 月 18 日～20 日

議案	決議事項	第 1 号議案	『平成 29 年度事業報告書』
		第 2 号議案	『平成 29 年度決算報告書』
		第 3 号議案	『平成 30 年度事業計画書』
		第 4 号議案	『平成 30 年度収支予算書』
		第 5 号議案	『定款変更の件』
		第 6 号議案	『平成 31 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『平成 29 年度事業報告書』

本議案は、第 9 回定時社員総会で報告する第 1 号報告『平成 29 年度事業報告書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 9 回定時社員総会議案書の第 1 号報告『平成 29 年度事業報告書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 2 号議案 『平成 29 年度決算報告書』

本議案は、第 9 回定時社員総会に提案する第 1 号議案『平成 29 年度決算報告書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 9 回定時社員総会議案書の第 1 号議案『平成 29 年度決算報告書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 3 号議案 『平成 30 年度事業計画書』

本議案は、第 9 回定時社員総会に提案する第 2 号議案『平成 30 年度事業計画書』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 9 回定時社員総会議案書の第 2 号議案『平成 30 年度事業計画書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 4 号議案 『平成 30 年度収支予算書』

本議案は、第 9 回定時社員総会に提案する第 3 号議案『平成 30 年度収支予算書』について、理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 9 回定時社員総会議案書の第 3 号議案『平成 30 年度収支予算書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 5 号議案 『定款変更の件』

本議案は、第 9 回定時社員総会に提案する第 4 号議案『定款変更の件』について、理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 9 回定時社員総会議案書の第 4 号議案『定款変更の件』に記載されていて、内容は以下の通りである。

本店の移転に伴い、定款第 2 条を次の通り変更したい。

定款変更案

(主たる事務所)

第 2 条 当法人は、主たる事務所を東京都港区に置く。

(注)現行定款

(主たる事務所)

第 2 条 当法人は、主たる事務所を東京都新宿区に置く。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 6 号議案 『平成 31 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

本議案は、第 9 回定時社員総会に提案する第 5 号議案『平成 31 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 9 回定時社員総会議案書の第 5 号議案『平成 31 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

2.4.3 第 3 回理事会

開催場所 ルーテル市ヶ谷センター

開催日時 平成 30 年 6 月 22 日 17 時 50 分～18 時 10 分

議案等 決議事項 第 1 号議案 『オープン CAE シンポジウム 2018 の運営方針について』

第 2 号議案 『会員管理システム「シクミネット」の導入について』

協議事項 ① メールニュースについて

報告事項 ① 横浜観光コンベンション・ビューローの学会行事支援事業説明会について

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『オープン CAE シンポジウム 2018 の運営方針について』

本議案は、オープン CAE シンポジウム 2018 の運営方針について理事会の承認を求めるものであり、詳細な運営方針案が提示された。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第 2 号議案 『 会員管理システム「シクミネット」の導入について 』

本議案は、会員管理システム「シクミネット」の導入について理事会の承認を求めるものであり、詳細なシステム資料が提示された。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

1 メールニュースについて、下記のような意見が出された。

- 会誌に近い存在とするため、2ヶ月に一度の定期刊行とし、特に会員に伝えるべきことがあれば号外などの発行を行う。
- コンテンツとして、イベント・勉強会案内、委員会活動の報告・メンバー募集、研究活動・論文紹介、主要ソフトのリリース情報・TIPS、人事公募等を記載する。

(報告事項)

1 横浜観光コンベンション・ビューローの学会行事支援事業説明会について

- 高木理事より、横浜観光コンベンション・ビューロー(YCVB)の学会行事支援事業説明会に参加した、との報告があった。今後のシンポジウムの開催候補地として横浜市を検討する際に有用な情報を入手したとのことであった。

2.4.4 第 4 回理事会

開催場所	川崎市産業振興会館
開催日時	平成 30 年 9 月 9 日 13 時 00 分～17 時 00 分
議案等 決議事項	第 1 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2018 トレーニングについて 』 第 2 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2018 の運営方針について 』 第 3 号議案 『 シクミネットの決済手数料負担について 』
協議事項	① 論文集について ② 国際化について ③ 資料翻訳について
報告事項	① 日本機械学会 CAE 検定の認定講習について

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2018 トレーニングについて 』

本議案は、オープン CAE シンポジウム 2018 トレーニングの運営方針について理事会の承認を求めるものであり、詳細な運営方針案が提示された。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第 2 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2018 の運営方針について 』

本議案は、オープン CAE シンポジウム 2018 の運営方針について理事会の承認を求めるものであり、第 3 回理事会で提示された運営方針案に追加する形で、詳細な運営法指案が提示された。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第 3 号議案 『 シクミネットの決済手数料負担について 』

本議案は、シクミネットの決済手数料負担について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- 学会員が支払いを行うときのペイジー決済やクレジットカード等の手数料は、学会が負担する。
本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

- 1 論文集について、下記のような意見が出された。
 - オープン CAE シンポジウム 2018 の発表から論文集への推薦を行う。
 - 受け付けられる論文の内容や査読の方針等、論文誌の内容に関する客観的な判断が難しく、当座の課題である。
- 2 国際化について、下記のような意見が出された。
 - オープン CAE シンポジウム 2018 の発表について、タイトル、キャプション、著者名は英語を推奨する。
 - オープン CAE シンポジウム 2018 の発表について、アブストラクトは英文とする。但し省略可能とする。
- 3 資料翻訳について、下記のような報告及び意見が出された。
 - Salome-Meca EdF 教材の公開に向けて準備中である。
 - OpenFOAM ユーザガイドの和訳を進める。

(報告事項)

- 1 日本機械学会 CAE 検定の認定講習について
 - 藤岡理事より、現状カリキュラムのまま継続申請を行った、との報告があった。

2.4.5 第 5 回理事会

開催場所	目黒区中目黒住区センター
開催日時	平成 30 年 10 月 28 日 13 時 00 分～17 時 00 分
議案等 決議事項	第 1 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2018 の運営方針について 』 第 2 号議案 『 2018 年度田辺賞について 』
協議事項	① オープン CAE シンポジウム 2018 について ② オープン CAE シンポジウム 2018 の学生表彰について ③ OpenFOAM ユーザガイド和訳について ④ 学会の創立 10 周年について
報告事項	① オープン CAE シンポジウム 2018 トレーニングについて

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『 オープン CAE シンポジウム 2018 の運営方針について 』

本議案は、オープン CAE シンポジウム 2018 の運営方針について理事会の承認を求めるものであり、第 4 回理事会で提示された運営方針案に追加する形で、詳細な運営法指案が提示された。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第 2 号議案 『 2018 年度田辺賞について 』

本議案は、2018 年度田辺賞について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- 藤井成樹様を受賞者として決定する。理由は EasyISTR の発展に向けたご貢献と treeFoam に関するご貢献を通じ、オープン CAE の発展に大いに寄与して頂いているから。

本議案について、原案を出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

- 1 オープン CAE シンポジウム 2018 について、下記のような意見が出された。
 - Web サイトに協賛団体を記載する。
 - 技術書展のオープン CAE に関する同人誌を販売する。

- 発表の中から論文集へのミネーションを行う。
 - 論文集のライセンスについて議論が必要である。
- 2 オープン CAE シンポジウム 2018 の学生表彰について、下記のような意見が出された。
- 2名表彰する。
 - 社会人ドクターは対象外とする。
 - 分野で不利にならないようにする。
 - 学生会員に限定するか議論が必要である。
- 3 OpenFOAM ユーザガイドと ParaView チュートリアル和訳について、下記のような報告及び意見が出された。
- OpenCFD 版の和訳を公開するにあたり、覚書やクレジットの表記について、ESI 社の担当者と折衝中である。
 - ParaView チュートリアルについて翻訳の要望がある。
- 4 学会の創立 10 周年について、下記のような意見が出された。
- これまでの経緯を振り返る記念誌を作成してはどうか。

(報告事項)

- 1 オープン CAE シンポジウム 2018 トレーニングについて
- 酒井理事より、オープン CAE シンポジウム 2018 トレーニングの内容が確定した、との報告があった。

2.4.6 第 6 回理事会

開催場所 川崎市産業振興会館
 開催日時 平成 30 年 12 月 7 日 12 時 00 分～12 時 45 分
 議案等 決議事項 なし
 協議事項 ① 来年度開催のオープン CAE シンポジウム 2019 について
 報告事項 ① オープン CAE シンポジウム 2018 について

会議の概要

(協議事項)

- 1 来年度開催のオープン CAE シンポジウム 2019 について、下記のような意見が出された。
- 暫定実行委員長を川畑様をお願いする。

(報告事項)

- 1 オープン CAE シンポジウム 2018 について、下記のような報告があった。
- トレーニングの事前＋通常参加登録数は 62 である。
 - 講演会の事前＋通常参加登録数は 96 である。
 - 懇親会の事前＋通常参加登録数は 37 である。

2.4.7 第 7 回理事会

開催場所 目黒区菅刈住区センター
 開催日時 平成 31 年 2 月 23 日 13 時 00 分～17 時 00 分
 議案等 決議事項 第 1 号議案 『OpenCFD 社との MoU について』
 第 2 号議案 『次年度事務局体制について』
 協議事項 ① 2018 年度の春の地方講習会について
 ② オープン CAE シンポジウム 2018 について
 ③ メールマガジンについて

- 報告事項
- ① 論文集について
 - ② 国際化について
 - ③ OpenFOAM ベンチマークについて
 - ④ HPC 小委員会の活動について
 - ⑤ 高度情報科学技術研究機構での OpenFOAM 講習会について
 - ⑥ オープン CAE 学会共催の OpenFOAM 講習会について

会議の概要

(決議事項)

第 1 号議案 『 OpenCFD 社との MoU について 』

本議案は、OpenCFD 社とのユーザガイド和訳及び OpenFOAM Governance に関する MoU の承認を求めるものであり、資料として MoU が提示された。

本議案について、出席理事全員一致で可決した。

第 2 号議案 『 次年度事務局体制について 』

本議案は、次年度の当法人事務局業務を、金田氏および中山氏へ委託することの承認を求めるものであり、資料として業務分担表および委託予算概算が提示された。

本議案について、出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

- 1 2018 年度の春の地方講習会について、下記のような意見が出された。
 - ・ 中川会長が富山での OpenFOAM 講習会を企画しているので、メインで検討する。
- 2 オープン CAE シンポジウム 2018 について、詳細な報告書が提示され、下記のような報告及び意見が出された。
 - ・ トレーニングは一般企業の受講者が多く、非会員の受講が多かった。アンケートは総じて良い結果であった。
 - ・ 総務、プログラム編成、広報の業務は同時並行的に行う必要があり、それぞれ責任者を置いて独立的に進めた方が効率的である。
 - ・ 賛助会員企業によるセミナーの運営方法・ルールを策定すべきである。
- 3 メールマガジンについて、下記のような意見が出された。
 - ・ 委員会活動紹介として、OpenCFD 社との関係性について触れる形で国際化推進委員会からお願いしたい。
 - ・ 2 カ月に 1 回、偶数月に定期的にメールマガジンを発行する。

(報告事項)

- 1 論文集について、下記のような報告があった。
 - ・ シンポジウム発表から論文推薦を行う。
 - ・ 学生賞受賞者も推薦対象とし、責任著者に勧誘の連絡を入れる。
- 2 国際化について、下記のような報告があった。
 - ・ Unofficial OpenFOAM wiki に日本の users group として、オープン CAE 学会へのリンクを記載した。
 - ・ OpenCFD 社との MoU により、OpenCFD 社のコミュニティへの積極的な参加が求められる。
- 3 OpenFOAM ベンチマークについて、下記のような報告があった。
 - ・ チャネル流によるベンチマーク測定を行い、学会の GitLab リポジトリにサブミットした。
 - ・ PC クラスタコンソーシアムのイベントで発表した。
- 4 HPC 小委員会の活動について、下記のような報告があった。

- 九州大学スーパーコンピューターのアカウントを確保した。
- 5 高度情報科学技術研究機構での OpenFOAM 講習会について、実施報告があった。
- 6 オープン CAE 学会共催の OpenFOAM 講習会について、実施報告があった。